

事後調査報告書（工事の施行中その２）
－（仮称）東京港臨港道路南北線建設計画－

調査項目：大気汚染（工事用車両の走行）、
騒音・振動、土壌汚染、自然との触れ合い
活動の場、廃棄物、その他（大気汚染（建
設機械の稼働）、水質汚濁、地盤、水循環、
生物・生態系（鳥類、水生生物））
環境影響評価書提出：平成28年２月８日
事後調査計画書提出：平成28年３月２日

1．事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

名 称：国土交通省 関東地方整備局

代表者：局長 土井 弘次

所在地：埼玉県さいたま市中央区新都心2-1

2．対象事業の名称及び種類

名 称：（仮称）東京港臨港道路南北線建設計画

種 類：道路の新設

3. 対象事業の内容の概略

本事業は、「10号地その2埋立地」から「中央防波堤内側埋立地」の約2.5kmの区間を結ぶ往復4車線道路として整備するものである。道路構造は大部分がトンネル構造であり、それ以外はスリット構造及び掘割構造である。

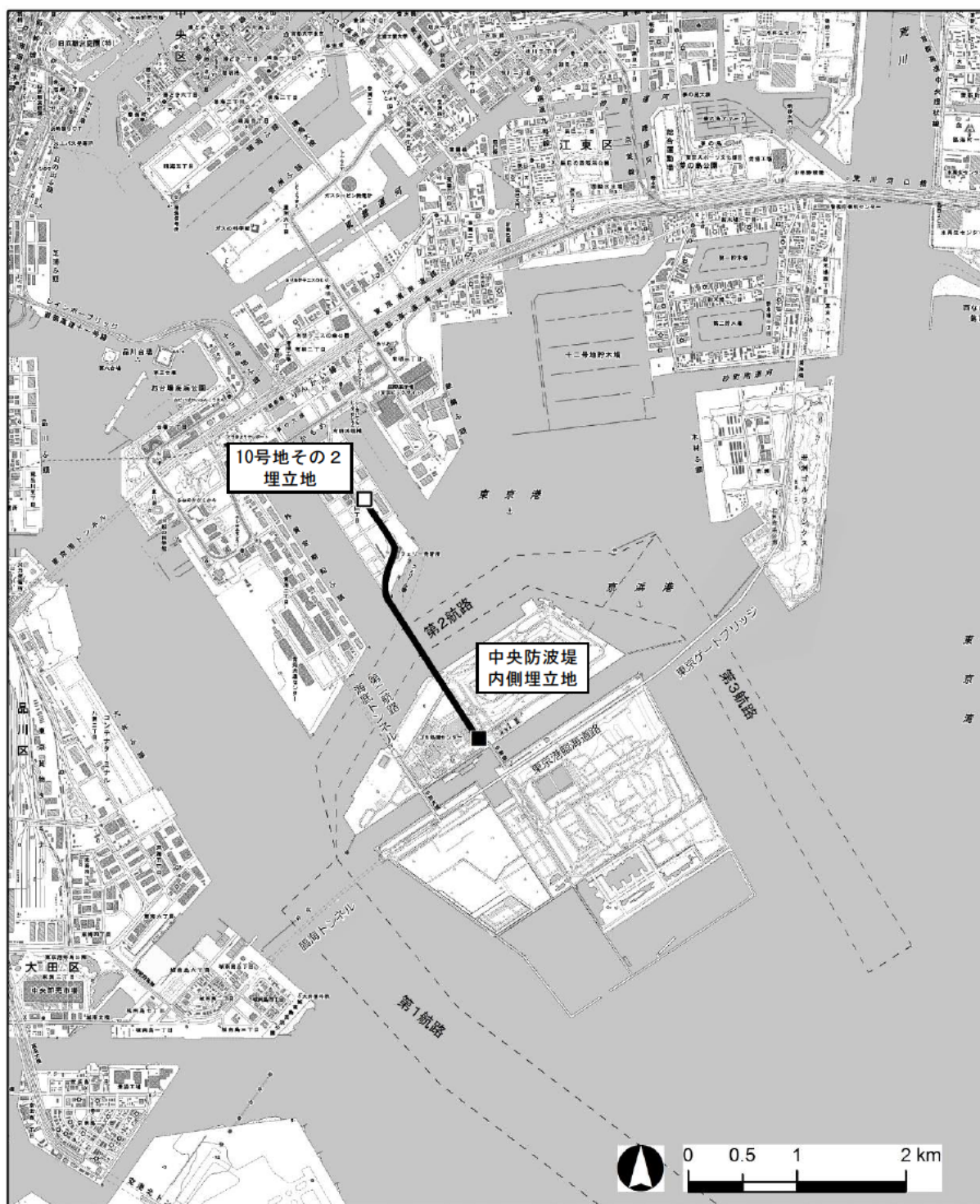
事業計画の概略は表3-1に示すとおりである。また、事業区域は図3-1、平面図・縦断面図は図3-2、構造別標準断面図は図3-3に示すとおりである。

表3-1 事業計画の概略

項 目	計画の概要
計 画 道 路 名 称	(仮称) 東京港臨港道路南北線
延 長 及 び 区 間	延長：約2.5km 起点：10号地その2埋立地（東京都江東区有明4丁目） 終点：中央防波堤内側埋立地
通 過 地 域	江東区、中央防波堤内側埋立地
道 路 規 格	第4種第1級 ^{注1}
車 線 数	往復4車線
車 線 幅 員	片側7.0m（路肩部を除く）
設 計 速 度	60km/時
道 路 構 造	トンネル構造：約1.6km 沈埋トンネル構造：約0.9km 開削トンネル構造：約0.6km 接続部構造：約0.1km スリット構造：約0.1km 掘割構造：約0.5km 平坦部：約0.2km 嵩上げ部：約0.1km
主 要 交 通 網 と の 交 差	主要航路：第2航路
計 画 交 通 量	32,400 台/日
事 業 予 定 期 間	平成28年度～令和2年度（平成32年度） ^{注2}
供 用 開 始 予 定	令和2年度（平成32年度）

注：1. 第4種第1級とは、「道路構造令」（昭和45年政令第320号）で定められた道路の区分である。

2. 令和元年以降の元号は、旧元号と併記した。



凡 例

- 計画道路
- 起点
- 終点
- 航路

図3-1 事業区域

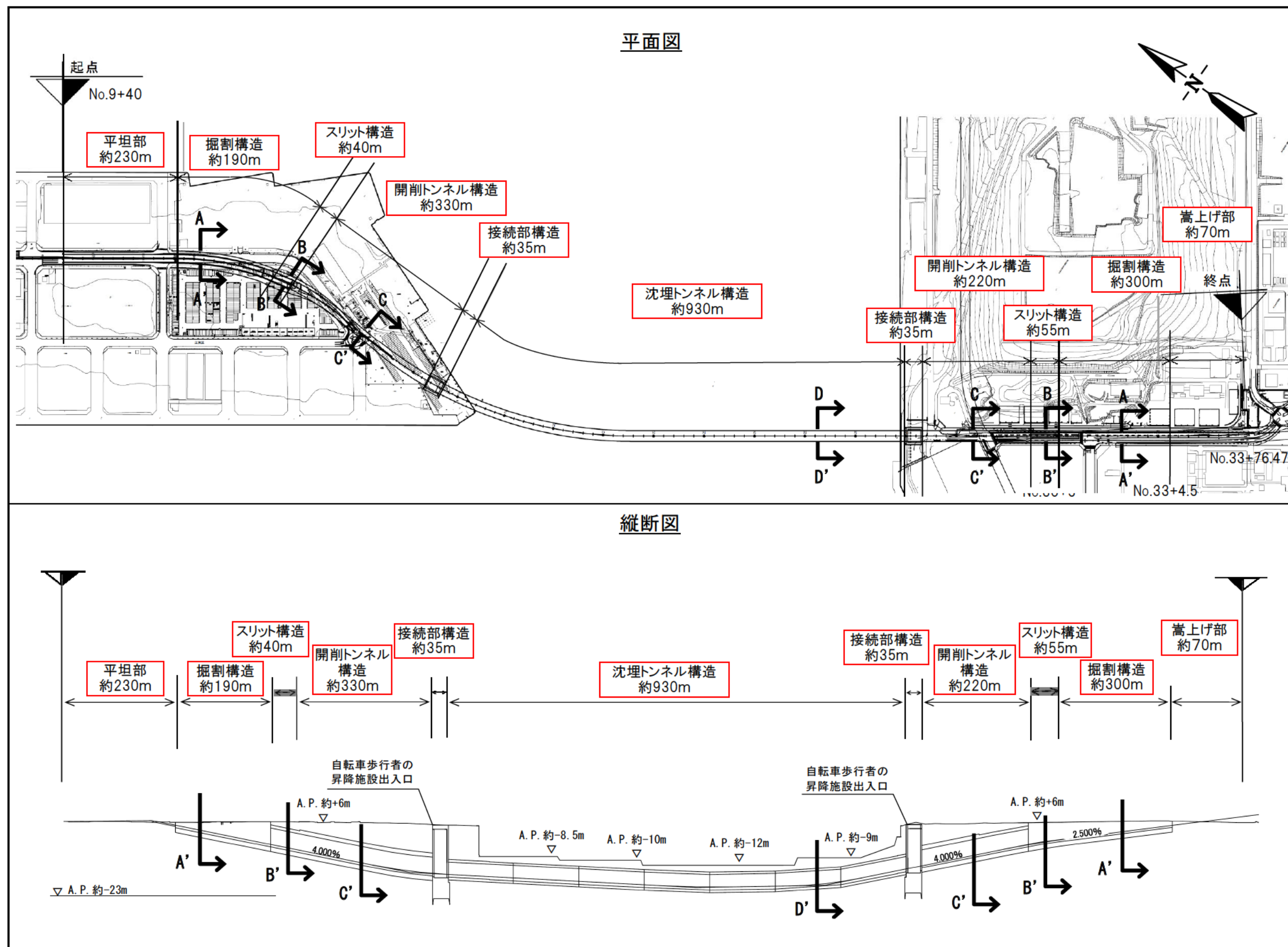
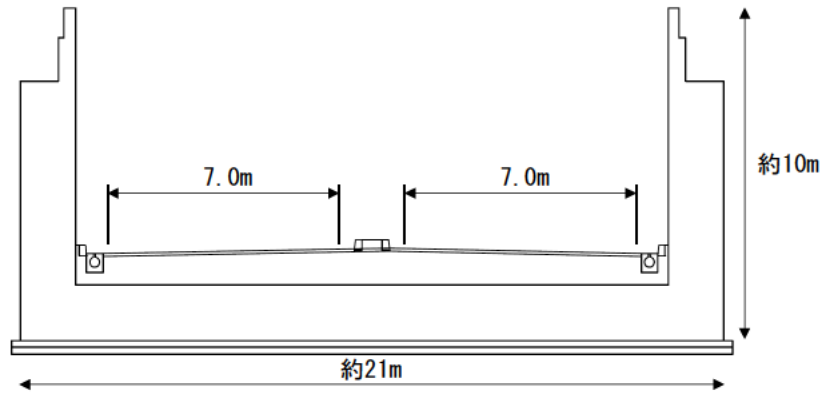
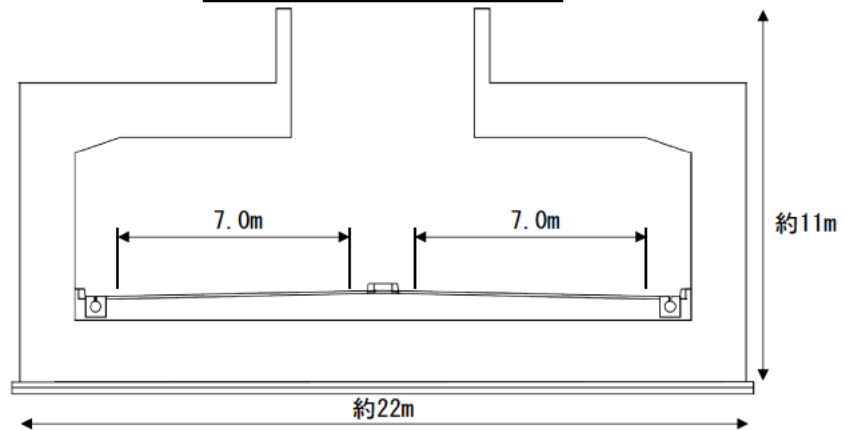


図3-2 平面図・縦断面図

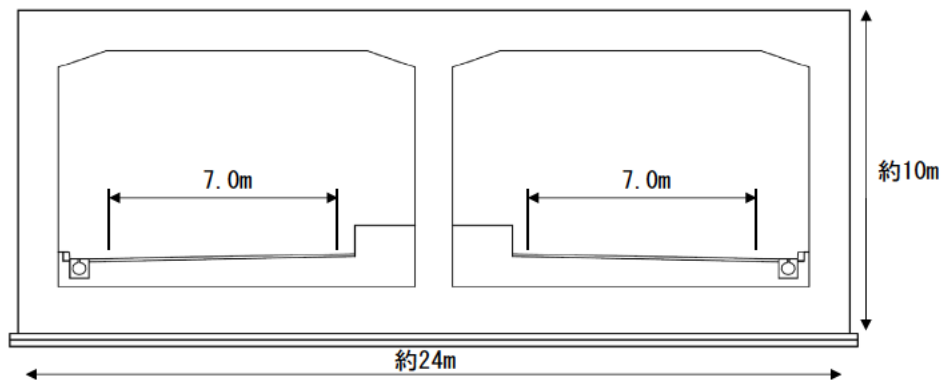
掘割構造断面図 (A-A')



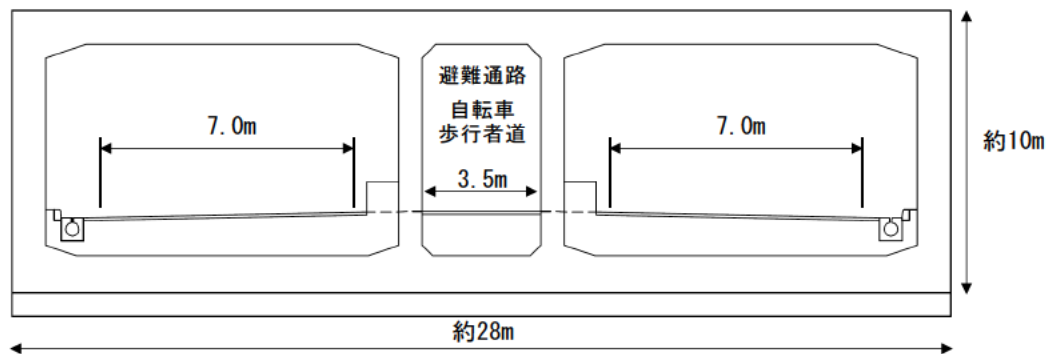
スリット構造断面図 (B-B')



開削トンネル構造断面図 (C-C')



沈埋トンネル構造断面図 (D-D')



注：各構造の断面位置は、図3-2の平面図に示す位置に対応する。

図3-3 構造別標準断面図